



新しい年を迎えました。令和7年は大阪万博が開催され、多くの人々に夢と希望をもたらしました。一方で、物価高騰や関税問題など、国内外の社会情勢の変化により、先行きへの不安が高まる状況も続きました。そのような状況の中、加古川市では、ICTを活用した利便性の高い行政サービスを市民の皆様にご実感いただけるよう、スマートシティの取組を着実に推進しています。また、市内に設置している約1,500台の見守りカメラの更新工事が令和7年度に完了し、安全・安心のまちづくりも一層進展しました。



引き続き、「夢と希望を描き、幸せを実感できるまち」の実現に向け、全力で取組んでまいります。

●令和8年度予算編成に向け提言書を提出

私達が所属する「かこがわ市民クラブ」は、市民の方々から寄せられた意見や要望を基に、令和8年度の政策・予算に反映されるよう**55項目**を重要政策提言書にまとめ、岡田市長へ提出し意見交換致しました。

【重要政策提言の主な項目】



(市長に対し会派政策提言)

◆中学校部活動の地域展開「かこ☆くら」について

(中心となる生徒が不利益を受けない、適切な配置及び環境の整備など)

◆日岡山公園の活性化と大規模改修の推進について

(Park-PFI事業者との連携による、魅力ある公園の整備など)

◆小中学校体育館への空調設備の設置について

(空調設備の設置に向け、早急な調査と、設置の推進)

◆加古川駅前周辺の活性化について

(河川敷と駅周辺をつなぐ一体的な取組と継続的なにぎわいの創出など)

◆公共交通政策の予算拡充による交通不便地域の解消

(次期計画の策定に向け、実効性のある定義の見直しなど)

●私たちが政策提言した事業の一部を紹介

「公共施設等予約システムの導入」



詳細は、QRコードより

ご確認ください。

昨年、提言しました公共施設等予約システムについて、令和8年1月より運用を開始しました。これまで一部のスポーツ施設等に限られていたオンライン予約について、会議室や公民館、文化施設、音楽室など対象施設を拡大します。

また、空き状況の確認、予約・抽選申込、使用料等のオンライン決済など、予約手続きがスマートフォンやパソコンから24時間できるようになり、より便利に公共施設を利用できます。

利用開始日は、令和8年1月6日(火曜日)午前10時から(令和8年4月利用分から順次受付を開始)

●令和7年度 第5回市議会定例会が開催されました（12月3日～12月19日）

一般会計補正予算では約 32 億円の増額補正や、条例改正、契約案件について審議を行いました。

補正予算（一部抜粋） … 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業

【家計応援ギフト配布事業】 14 億 6,200 万円

食料品の物価高騰による市民の負担軽減を図るため、市民全員を対象に、一人あたり 5,000 円相当分のギフト（デジタルまたはカタログ）が配布されます。

* 今後の予定： 令和 8 年 4 月中旬～ 通知文章発送、
4 月中旬～ 6 月末 申請手続き及び商品交換



【物価高対応子育て応援手当給付事業】 8 億 6,000 万円

長期化する物価高の影響を、特に強く受けている子育て世帯を力強く支援し、こどもたちの健やかな成長を応援する観点から、0 歳から高校 3 年生までの子どもたちに 1 人あたり 2 万円が支給されます。

* 対象者数：児童手当支給対象児童、約 43,000 人

（令和 8 年 3 月 31 日までに生まれる新生児を含む。）

* 今後の予定：令和 8 年 1 月中旬～ 通知文発送（受給の意思確認）➡ 2 月以降、支給予定



債務負担行為（一部抜粋） … 来年度以降に支払うことになるお金を、今年の予算で議会に承認してもらう仕組み

【小学校運営管理事業】（水泳授業指導業務委託） 1 億 9,247 万円

加古川市では、老朽化した学校プールの維持費削減と教員の負担軽減を目的として、令和 5 年度から小学校の水泳授業に民間プール施設を活用する取組みを試行しています。

令和 8 年度からは対象校を 24 校へ拡充する予定です。

* 加古川市立小学校は 27 校



【中学校建設事業】（体育館空調設置外設計業務委託） 1,770 万円



設置イメージ

加古川市では、令和 9 年度に中学校 12 校、令和 10～11 年度に小学校 26 校の体育館へ空調機器を設置する計画を進めています。これに先立ち、令和 8 年度には設置調査および設計業務を実施します。

●一般質問を行いました

『JR 加古川線の利用促進について』

【質問】「厄神駅から市場駅間の新駅設置について」

【回答】 JR 西日本とこれまで協議を重ねてきましたが、加古川線の利用者数が減少傾向にあることなどから、新駅設置は困難であるとの回答を得ており、現時点では設置の見通しは立っていません。しかしながら、みとろの丘や漕艇センターの利用者が増加している状況もあることから、今後も利用実績や利用ニーズを注視してまいります。



【質問】「持続的な維持・活用に向けた今後の取組について」

【回答】 人口減少が進む中で、公共交通を維持し、持続可能な形で次世代へ引き継ぐことが地域の発展につながるとの認識のもと、取組む必要があります。今後も JR 西日本、兵庫県、沿線自治体、交通事業者と連携を図り、利用促進に向けた取組みを進めてまいります。



質問動画

【意見】 新駅設置は厳しいですが、引き続き、利用促進につながる取組みについて要望しました。